

年 組 名前：

問1

数を示す際の単位接頭語が、何年以來、何年ぶりに、いくつ追加されましたか。

- ・ 年以來
- ・ 年ぶり
- ・ つ

問2

追加された理由について、教えてください。

.....

.....

.....

.....

.....

問3

下記の単位接頭語を、数の大きい順に並べてください。

[Q] → [] → [] → [] → []

→ [] → [] → [] → [] → [K]

E(エクサ) G(ギガ) K(キロ) M(メガ) P(ペタ)

Q(クエタ) R(ロナ) T(テラ) Y(ヨタ) Z(ゼタ)

大きい数や小さい数を示す際、単位と合わせて使う「ギガ(10の9乗)」や「ナノ(10のマイナスイナス9乗)」といった接頭語に、新たに「クエタ(10の30乗)」など四つが加わることが19日までに決まった。追加は1991年以來31年ぶり。フランスで開催された国際度量衡総会で承認された。

クエタの他に加わるのは「ロナ(10の27乗)」「ロント(10のマイナスイナス27乗)」「クエクト(10のマイナスイナス30乗)」。大量のデータをやりとりするデジタル化など、科学技術の発展に伴い新しい接頭語を求め、産業技術総合研究所によると、既に他の接頭語や単位に使われているアルファベットを避けた結果、記号として使用できるのは「q」と「r」に限られ、ラテン語やギリシャ語の単語を参考に名称が決められた。これまでは最大が「ヨタ(10の24乗)」、最小が「ヨクト(10のマイナスイナス24乗)」だった。

10の30乗「クエタ」

単位接頭語 新たに四つ

(2022年11月20日付 山梨日日新聞 22面)